

三朝で水道
セミナー

先進事例の報告に耳を傾ける参加者
27日、三朝町三朝のブランチルームで

遠隔監視施設の事例発表など コスト削減にヒント



「行財政改革時代の水道事業」をテーマに「水道セミナーin鳥取」（県簡易水道協会主催、新日本海新聞社

理解している」としつつ、「政府が迷走気味にどこでもいいから声を掛けるといふことはあってはならない」と述べて政府の慎重な対応を求めた。

など後援）が27日、三朝町三朝のブランチルームで開かれ、低コストで導入、管理が可能な水道施設についての事例発表などが行われた。

セミナーは、同町がインターネットで遠隔監視ができる上水道と温泉施設を導入していることから、施設見学と合わせて開催。県内外から自治体の水道管

理担当者ら約80人が参加した。

鳥取市簡易水道室の堀尾憲一室長が基調講演し、同市の簡易水道と上水道事業の統合計画について経費の軽減やリスクの低減などのメリット、デメリットを説明した。

また、三朝町のほか、智頭町と八頭町が導入している、遠隔監視が可能な施設監視システムの事例発表と見学会も実施。参加者は、施設更新費と管理コストの削減につながるヒントをつかもうと、熱心に耳を傾けていた。